

## 教育課程の編成の基本方針 (令和5年度)

### 1 指導内容について

- ① 各教科において
  - 自分の考えをつくり、表現する授業を構築する。
  - ICTを積極的に活用し、授業の効果を高める。
- ② 道徳教育、人権・同和教育の視点に配慮した教育活動において
  - 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を高める内容を設定する。
  - 人権・同和教育教材を積極的に活用し、人権教育の充実を図る。
- ③ 特別活動において
  - 自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる。
  - 学校行事や体験的活動を通して、集団での望ましい人間関係づくりに努める。
  - 学校行事の充実と生徒会専門委員会活動の活性化を図る。
- ④ 総合的な学習の時間において
  - 課題の設定と情報収集、整理、まとめを行い、表現する活動を充実させる。

学年	内容
1	進路学習（職業調べ・GTによる講話、職場体験学習3日間）
2	進路学習（高校調べ、高校授業体験）
	歴史体験学習（平和学習・伝統文化体験・修学旅行宿泊体験、京都班別自主研修）
3	進路学習（体験入学参加）

### 2 授業時数の配当

※29コマで時間割を作成する。

区分	各教科									特別の教科道徳	学活	総合的な学習	業時数 総授
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技・家	英語				
1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015
	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29
計	385	350	385	385	115	115	315	175	420	105	105	190	3045

### 3 考査

定期考査は、基礎学力の定着を確認する場として設定し、日常の学習指導を評価し、授業改善に役立てることを目的とする。定期考査は下の表のように、5教科と9教科の組み合わせで4回を実施する。

	第1回	第2回	第3回	第4回
1学期中間	1学期期末	2学期中間	2学期期末	学年末
なし	9教科	5教科	9教科	9教科

## 校 時 程 1(令和5年度)

		専門委員会等のみ
8:30	登 校	8:30
8:30～8:45	朝学習 朝の会	8:30～8:45
8:55～9:45	1 限目	8:55～9:45
9:55～10:45	2 限目	9:55～10:45
10:55～11:45	3 限目	10:55～11:45
11:55～12:45	4 限目	11:55～12:45
12:45～13:20	給 食	12:45～13:20
13:20～14:05 (予鈴14:00)	昼休み	13:20～14:05 (予鈴14:00)
14:05～14:55	5 限目	14:05～14:55
15:05～15:55	6 限目	15:05～15:55
16:00～16:10	清 掃	
16:15～16:30	帰りの会	16:00～16:15

・時間を確保するため、専門委員会の日は掃除をカットする。

・水曜日を基本的に定時退校日とする。

・部活動の朝の練習は行わない。